



ZA-Party

ZA-Party : ZA KOENJI Performing Arts Party
Performing Arts Camp in Koenji 2026 (PACK)
募集要項

[応募締切：2026年8月24日(月)16:00（日本標準時）]



[お問い合わせ]

ZA-Partyオフィス（座・高円寺）

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2丁目1-2 2F

EMAIL: za-party@syuzgen.com

TEL: 03-3223-7500

1. ZA-Partyについて

劇場からはじめる、（アジアの）連帯のためのパーティー

「ZA-Party : ZA KOENJI Performing Arts Party」は、座・高円寺が主催する、アジア各地の舞台芸術の実践者たちが出会い、集まり、連帯するためのプラットフォームです。文脈や実践を持ち寄り、対話と試行を重ねながら、新たな関係性と連帯が立ち上がる場としての「パーティー」を掲げ、アジアの舞台芸術のこれからをともに遊び、ともに分けあう方法を探求します。

ZA-Partyはまず、協働や連帯が生まれる継続的なコミュニティでありたいと思っています。そして、参加者同士がつながるだけでなく、劇場自体がそのハブとなることを目指します。座・高円寺は、プログラム終了後も参加者との関係を継続し、それぞれのアイデアや実践、協働の芽が、ひとつの着地点に向かう可能性をともに模索していきます。

その着地点は、たとえば劇場での演目上演という形かもしれませんが、そういった形に限定されない、ジャンルや場所の枠を越えたものになるかもしれません。ZA-Partyは、参加者とともに模索のプロセスを重ね、劇場が主催する国際共同制作や協働の新たな形を探りたいと思っています。そして何より、プロセス自体を遊びながら、安全に挑戦でき、安全に失敗できる実験の場でありたいと思っています。

2. Performing Arts Camp in Koenji 2026 (PACK) について

2026年度は、『Performing Arts Camp in Koenji (PACK) 』をスタートします。座・高円寺に約2週間滞在し、それぞれの実践や問いを持ち寄り、ともに考え、試行する。アジアを拠点とする若手アーティストを対象としたアートキャンププログラムです。

本プログラムは、参加者が学び合い、リサーチし、ともにつくるプロセスを往還しながら進んでいきます。互いの実践や問いを共有するレクチャーやディスカッション、座・高円寺や高円寺の個性豊かな街そのものをフィールドとした、それぞれの関心に基づくリサーチなどを経て、最後には、それらを再び持ち寄り、参加者全員でひとつの「^{パーティー}宴」を立ち上げます。

それぞれの実践を個人で深め、集団で共有し、再びそれぞれの実践へと持ち帰る。この往還のプロセスそのものが、（アジアの）連帯についての思考／試行につながることを期待しています。

今年度は、渡辺瑞帆（セノグラファー・建築家）、山田カイル（演劇作家・ドラマトゥルク）の2名をファシリテーターに迎え、**「_____の亡霊 (Specters of _____)」**をテーマにプログラムを実施します。

3. コミュニケーションデザインについて

ZA-Partyでは、国や文化等の異なるメンバーが集まる国際協働の現場において、その出自や立場に関わらず参加者全員が安心して挑戦できる環境を整えるため、企画段階から、アートを専門とする翻訳者／通訳者のチームであるArt Translators Collectiveが「コミュニケーションデザインチーム」としてプログラム設計に関わっています。プログラム期間中も、参加者が対等に対話に参加できる場を作るため、コミュニケーションのサポートをしていきます。

今年度は英語（と日本語）を基本言語としてプログラムを実施します。プログラム内のコミュニケーションは英語を基本としますが、劇場スタッフとのやり取りや、高円寺でのフィールドワークなど、日本語が必要となる場面も多く想定されます。そのため本プログラムでは、コミュニケーションデザインチームによる日本語・英語の言語サポートを提供します。

言語をめぐる政治的・歴史的構造を含むさまざまな非対称性が存在する中で、これは十分な方法ではないと考えています。しかし、ZA-Partyというコミュニティでは、言語を固定的なルールとして扱うのではなく、状況に応じてさまざまな言語やツールを使い分けながら関係を築いていきたいと思っています。そのため、翻訳や通訳を提供するだけでなく、異なる言語を話す人々がどのように場を共有し、関係を築き、協働できるのかということ自体を、参加者とともに実験し、アップデートを重ねていきます。プログラム開始前には、すべての参加者を対象に、コミュニケーションデザインチームがヒアリングを実施し、言語面で必要なサポートについて個別に確認します。

また書類選考および面接は英語で実施しますが、選考において語学力は評価対象となりません。ZA-Partyは、面接もまた、お互いがどのようにコミュニケーションを取れるかをともに試す小さな実験の場として捉えたいと思います。ご自身の第一言語⇄英語の通訳者の同席や、機械翻訳ツールの利用を含め、ご自身にとって最もコミュニケーションしやすい方法を、ご自身で選択・手配された上で用いてください。面接では、円滑なコミュニケーションを確保するため、コミュニケーションデザインチームが同席し、（日本語話者の）ZA-Partyオフィスメンバーに向けて、日本語⇄英語の通訳を行います。

4. ZA-Partyオフィスについて

ZA-Partyオフィスは、座・高円寺の指定管理者である合同会社syuz'genによって運営されています。

合同会社syuz'genは、主に舞台芸術分野における企画制作やマネジメントなどを行っています。特に国際協働・人材育成の分野においてはこれまで、「Asian Performing Arts Farm (APAF)」 「東京芸術祭ファーム」をはじめとする、アジアを対象にした国際協働事業や、人材育成プログラムなどの運営を受託してきました。

ZA-Partyオフィスは、合同会社syuz'genがこれまで多様な人々と協働してきた知見・蓄積を生かして、他者へのリスペクトを前提とし、さまざまな人がその出自や立場にかかわらず、安心して創造的な力を発揮できる場作りを目指し、コミュニケーションデザインチームと連携しながら事業を実施します。



東京芸術祭ファーム
Asian Performing Arts Camp 最終発表の様子（2024）



東京芸術祭ファーム
Asian Performing Arts Camp 最終発表の様子（2024）

○ ZA-Partyガイドラインについて

ZA-Partyは、他者へのリスペクトを前提とし、様々な人が創造的な力を安心して発揮できるよう、この[ガイドライン](#)に則って運営されます。

5. 実施スケジュール

日程（日本標準時）	内容	実施場所
10月未定	オンラインキャンプ#1	オンライン（Zoom）
11月未定	オンラインキャンプ#2	
12月5日(土)	東京入り／ホテルへのチェックイン	
12月6日(日)～12月20日(日)	オンサイトキャンプ実施期間	座・高円寺 けいこ場1 座・高円寺1
12月21日(月)	ホテルからのチェックアウト	

○実施内容（予定）

- ・ファシリテーター、コミュニケーションデザインチーム、ゲストらによる、レクチャーやワークショップ、フィールドツアー
- ・座・高円寺および高円寺をフィールドとしたリサーチ
- ・^{パーティー}宴
- ・参加者・関係者・劇場利用者等との交流プログラム ほか

○^{パーティー}「宴」について

プログラムの最後には、それぞれのインプットやリサーチをもとに、参加者全員でひとつの^{パーティー}「宴」を作り、一般公開します。（要予約）

日程 | 2026年12月19日（土）時間未定

会場 | 座・高円寺1

言語 | 日本語・英語（通訳あり）

宴オーガナイザー | Performing Arts Camp in Koenji 2026参加者、ファシリテーター

6. PACK 2026 テーマ

_____の亡霊 (Specters of _____)

豊かさへ向かうたびに、何かが置き忘れられてきました。

より良い方へ、より正しい方へと進みながら、その過程で失われたもの、見過ごされてきたもの、言葉にならなかったものは、静かに積み重なっています。それでも私たちは、進み続けるしかないようにも思えます。

だからこそ、ときには立ち止まり、いま私たちが立っている場所を見つめ直す時間が必要なのかもしれません。一人で立ち止まることは難しくても、小さく集まることで見えてくる景色があります。

同じ時間と場所を共有し、ともに考え、ともに煮詰まる。それぞれが真剣に絞り出した思考や感覚が、思いがけない瞬間に誰かの思考と触れ合い、新しい視点をひらくことがあります。

ここでは、それぞれが自分自身の問いを持ち寄ります。しかし、その問いを自分だけのものとして抱え込むのではなく、お互いの取り組みに耳を傾け、ときに支えられ、ときに揺さぶられながら、自らの問いにも向き合っていきます。

見えないものや置き忘れてきたものにもう一度出会い、いま私たちの足元から考え始めるための場です。

渡辺瑞帆（セノグラファー・建築家）

私たちは「恒常性のデジャ・ヴ」のなかにいる。失効した20世紀の諸システムのゾンビたちが跋扈する。誰にも気付かれず、いつの間にか死んでいた父王が、我々を見つめている。

しかし、亡霊は未来からも訪れる。廊下の暗がり、鏡の奥に、トンネルの向こうに佇む白い人影は、これから起こる事件の予兆でもあるのだ。実際、夜な夜な現れる父王は、エルシノアに来たる変革の徴でもあった。私たちを終わりのなきデジャ・ヴの中に閉じ込めるのも亡霊ならば、世界に対する不安を掻き立て、私たちにあらゆるものを疑わせ、未視感(ジャメ・ヴ)を引き起こすのも、同じ亡霊なのである。

劇場に幽霊話は付きものである。何せ劇場そのものが亡霊だ。その事を自覚しないあらゆる劇は、デジャ・ヴを蔓延らせる装置になるだろう。だから私たちは、“シアター”を脱臼させなければならないのだ。見知ったはずのものから立ち上がる不気味さ。そのなかに佇む連帯を探りたい。うまくいったあかつきには宴があるだろうから、その予兆になるよう、宴から始めたいと思う。

山田カイル（演劇作家・ドラマトウルク）

○ファシリテーター



photo: Kenji Seo

渡辺瑞帆 Mizuho Watanabe

東京、豊岡（日本）

セノグラファー・建築家。Scenograff主宰、建築集団ガラージュ共同主宰。客席と舞台、そして都市や風景との関係性に着目し、あらゆる場を劇場として捉え、人々の動きや振る舞い、日々の習慣に働きかけるような空間の創造を目指している。兵庫県豊岡市と東京の二拠点で活動中。

2016-2018年 フジワラテッペイアーキテクツラボを経て、2020年 ガラージュ共同設立。2017-2023年 青年団演出部、2020-2022年 豊岡演劇祭事務局。

近年の主な活動は、バイオマス関連施設での野外演劇ツアー『バイオマス・マクベス』（森の芸術祭 晴れの国・岡山 2024、企画:家を渉る劇）など。ガラージュでは今年、ARTE TOKYO（東京国際文化芸術祭）に参加予定。



撮影：上竹真菜美

山田カイル Kyle Yamada

東京（日本）

演劇作家、ドラマトゥルク、翻訳家。抗原劇場代表。1993年テキサスに生まれ、その後青森で育つ。演劇というメディアの仮設性に着目し、「舞台芸術」の枠組みの内外を行き来しながら、社会において不変とされる概念を解きほぐす作品を展開している。過去作に、1人でパフォーマンスを立ち上げるためのインストラクション『1(忘)LDK』や、観客が自ら選んだ本を暗記するアートプロジェクト『華氏同盟』、熊害にまつわるリサーチプロジェクト『A CALL TO BEAR ARMS』など。ジュネスホワイトや木村玲奈など、ダンサーとの協働も多数。2026年より、SPAC「BIOTOPE—劇作家のためのキャンプ」に参加。また、国際交流基金の2026年度アジア文化芸術フェローシップに採用。

7. 募集概要

○応募資格

次の1～6のすべてにあてはまる方

1. アジアを拠点に活動している
2. 原則として2026年8月24日（応募締め切り）時点で35歳以下
3. 全ての実施日程に参加可能
4. 座・高円寺が行う広報およびPRに協力することができる
5. オンラインでの活動に必要な環境を整えられる
6. 日本への渡航・滞在に必要な手続きに協力できる（本手続きにかかる経費は参加者負担）
 - ビザ申請や航空券手配等の手続きに必要な情報の提供（パスポート情報、顔写真等）
 - 海外現地の在外公館へのビザ申請手続き

○募集人数

5名程度

○サポート

- ・ 高円寺滞在期間中の宿泊場所提供（12月5日～21日）
- ・ オンサイトキャンプ実施期間中の日当 [2,400円（消費税込み）×15日間]
- ・ オンサイトキャンプ実施期間中のイベント保険加入（12月6日～20日）
- ・ パーティー 宴 およびリサーチに必要な制作費 [上限15,000円（消費税込み）]

< 海外居住者のみ対象 >

居住地の最寄りの国際空港から東京の国際空港間の往復航空券、東京の国際空港と滞在場所間の往復送迎

< 日本国内の関東以外の地域に在住しており、自宅からの参加が難しい場合 >
居住地から東京までの往復交通費の補助

○選考スケジュール

応募締切：2026年8月24日(月)16:00（日本標準時）

一次選考

- ファシリテーター、ZA-Partyオフィスによる書類審査を行います。
- 結果発表：2026年9月2日(水)までにメールにて合否を通知

二次選考

- ファシリテーター、ZA-Partyオフィスによるオンライン面接（Zoom）を行います。
- ZA-Partyオフィスとのコミュニケーションのため、コミュニケーションデザインチームによる英語・日本語の通訳を行います。
- 面接実施日：2026年9月7日(月)～9月10日(木)
- 面接実施日・実施時間については、対象者に個別にご連絡します。

参加者決定

- 結果発表：2026年9月17日(木)頃までに合否を通知

※採否に関わらず、選考の結果は応募者全員にメールで通知します。ZA-Partyオフィスからのメール（za-party@syuzgen.com）が受け取れるようパソコンや携帯電話の設定をご確認ください。

8. 応募方法

応募フォームより必要事項を**全て英語**で入力の上、送信してください。

応募フォーム <https://sgfm.jp/f/party2026pack>

○ 必要事項

1. 氏名もしくはアーティスト名
2. 自分に対して使用してほしい代名詞 (he/him、she/her、they/them、名前 等)
3. 国籍
4. 活動拠点 (複数ある方は全て)
5. 最寄りの国際空港 (日本国外在住者のみ)
 - 活動拠点に関わらず、東京への渡航時に出発予定の国際空港を記入してください。
 - 東京からの帰国便の到着予定の空港が上記と異なる場合は詳細を記入してください。
6. 生年月日
7. メールアドレス
8. 連絡先住所 (日本在住者のみ / 日本語で記入)
9. 日中連絡のつく電話番号
10. 職業 (所属など)
11. アーティストプロフィール (150ワード以内)
12. アーティスト写真 (画像形式: jpgまたはpng / データサイズ: 5MB以下)
13. ウェブサイト (あれば)
 - ポートフォリオ、SNSアカウント等、自身の活動が分かるもの
14. これまで関わった作品の動画リンク (YouTube、Vimeo等 / あれば)
 - その作品における自身の役割
 - その作品の概要 (150ワード以内)
 - 必要に応じて閲覧制限を設定してください。
15. 自身の活動の中心的なテーマや問題意識 (200ワード以内)
16. 「____の亡霊」の空白、あなたにとっては何か(200ワード)
17. 自身の英語でのコミュニケーション力 (選択式)
 - A. 簡単な自己紹介や相手との会話が出来る
 - B. ある程度準備しておけば、自分の活動の内容を説明することができる
 - C. 自身の専門分野において、抽象的な概念も用いながら考えや意見を述べることができる
 - D. C.をもとに、議論を発展させていくことができる
 - 上記の回答についての補足 (資格・スコアがある場合はお書きください)
18. 二次選考期間 (2026年9月7日(月)～9月10日(木)) の内、面接に参加できない日時 (あれば)
※日本標準時で回答してください。
19. 応募にあたっての連絡事項など (あれば)

○ 留意事項

お預かりした個人情報は厳重に保管し、本プログラムに関する諸連絡以外に使用することはありません。

9. 座・高円寺について

「座・高円寺」は、舞台芸術の創造と発信、そして地域に根ざした杉並区の文化活動の拠点です。演劇やダンスなどの優れた舞台芸術作品の上演、ワークショップやレクチャー、演技アカデミーの開講など、芸術文化振興のための人と芸術をつなぐ多彩なプログラムを展開するとともに、地域の皆さんによるさまざまな芸術文化活動や交流を支援しています。

建物は伊東豊雄氏による設計。初代芸術監督である佐藤信氏が創設に携わった「劇団黒テント」をはじめ、日本の前衛演劇が回帰を掲げた「芝居小屋」がコンセプトの一つとなっています。演目によって自由に舞台・客席形状を変えることができるあたらしい形の小劇場（座・高円寺1）、固定席を備えた使いやすい区民ホール（座・高円寺2）、「東京高円寺阿波おどり」の普及振興と、ダンスやパフォーマンスの上演もできる阿波おどりホールという3つの個性的なホール、劇場での作品創造を支える稽古場や衣裳製作室、舞台美術製作室、音響・映像製作室や、現代劇の戯曲を収集・保存するアーカイブ（書庫）、ピアノを備え、ライブイベントも開催可能な、杉並野菜を使ったメニューを提供するカフェ（店名「まあるいカフェ」）など、さまざまにひらかれた空間を備えています。



9. 実施会場について：けいこ場1、座・高円寺1

○けいこ場1について

オンサイトキャンプ実施期間の前半は、「けいこ場1」を使用します。

けいこ場1は、座・高円寺の地下3階にある、座・高円寺1の基本舞台面と同等のサイズを持つ稽古場です。フレキシブルな空間で、多様な活動に利用できます。

○座・高円寺1について

オンサイトキャンプ実施期間の後半は、「座・高円寺1」を使用します。

「座・高円寺1」は建物に入ってすぐの1階に位置し、舞台と客席の位置や形、大きさを自由に組み合わせて、作品の内容に応じた空間を作ることができます。

舞台図面ほか

https://za-koenji.jp/new/wp-content/uploads/2025/11/za-koenji1_technical_plan.pdf

舞台・形状	掘り込みエンドステージ 6x6尺のステージデッキ束立
間口	16.2m (54尺)
基本奥行	7.2m (24尺)
床面	合板に染色塗装
スノコ高	11.35m (38尺)
吊り物	電動バトン：1本（バック幕用）
移動式点吊	16台
固定ブリッジ	4列（照明・美術兼用）
客席(基本形状)	238席



10. FAQ

Q. 「アジア」の定義はなんですか？

A. アジアは地理的な範囲として非常に広く、多くの国や地域が含まれています。アジアの定義は文化的な観点や地政学的な観点によっても異なる場合があります。PACKでは、ご自身の活動拠点がアジアであれば応募が可能となり、アジアの定義も応募者にゆだねています。

Q. アジア圏出身ではない人、アジア圏の国籍がない人でも応募できますか？

A. 現在、アジアを拠点に活動している方であれば、出身地・国籍は問いません。

Q. 全ての活動に参加できないのですが、応募できますか？

A. 原則として、全日程に参加可能な場合のみ応募が可能です。やむを得ない事情で参加できない日程がある場合は、応募時にZA-Partyオフィスまでご相談ください。

Q. 英語が苦手なのですが、通訳のサポートは付きますか？

A. プログラムの活動や参加者同士のコミュニケーションは基本的に英語で行い、通訳は原則提供しません。ただし、参加者が語学力に関わらずプログラムに参加できるよう、事前のヒアリング含め、コミュニケーションデザインチームやZA-Partyオフィスがサポートします。

Q. 日本への到着後、空港～滞在場所間の送迎はありますか？

A. 海外からご参加の方には、東京の国際空港と滞在場所間の往復送迎を手配いたします。

Q. プログラム前後の延長泊は可能でしょうか？

A. ご希望の場合は事前にご相談ください。

Q. ハラール等の宗教上の食事制限への対応はありますか？

A. アレルギー・食事制限等については、事前にアンケートで確認させていただき、プログラムで食事提供を行う場合は、それに対応したメニューをお出しします。

Q. コレクティブなど複数人での応募は可能ですか？

A. 原則としてお一人につき一つのご応募をお願いいたします。

11. クレジット

Performing Arts Camp in Koenji 2026

ファシリテーター：渡辺瑞帆、山田カイル

コミュニケーションデザインチーム：Art Translators Collective

アートトランスレーター：田村かのこ、春川ゆうき、水野響、植田悠

ZA-Partyオフィス

チーフ・コーディネーター：平野みなの

コーディネーター：中原信貴、平野后久良

PR：ユカワユウコ、井上みなみ、染谷日向子

チケットिंग：山内祥子、大澤麻衣

バックオフィス：河村美帆香

グラフィックデザイン：岡本太玖斗

主催：座・高円寺(指定管理者：合同会社syuz'gen)

芸術監督：シライケイタ

代表：植松侑子

館長：大川智史

管理統括：河村美帆香

総務：鳥飼健太郎、湯本美智子

施設：小南ひろ子、塚本玲奈、渡邊直子

票券：山内祥子、大澤麻衣

広報：ユカワユウコ、井上みなみ、染谷日向子

制作：古川真央、平野みなの、本田千恵子、宮本晶子、川勝俊輔、平野后久良、三次佑果

アシスタント：小野花音、白江咲子、戸北藍花、並木晴二郎、西脇将伍、西脇萌華、野村舞

デスク：甲斐美奈寿、河崎正太郎、宮崎晋太郎

レセプション：伊藤由美、砂倉由紀子、松永健資、丸山雄也、山本貴子

技術管理：株式会社シアターワークショップ

まあるいカフェ店長：加茂剛

設備管理・清掃：株式会社アキテム

後援：杉並区

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

